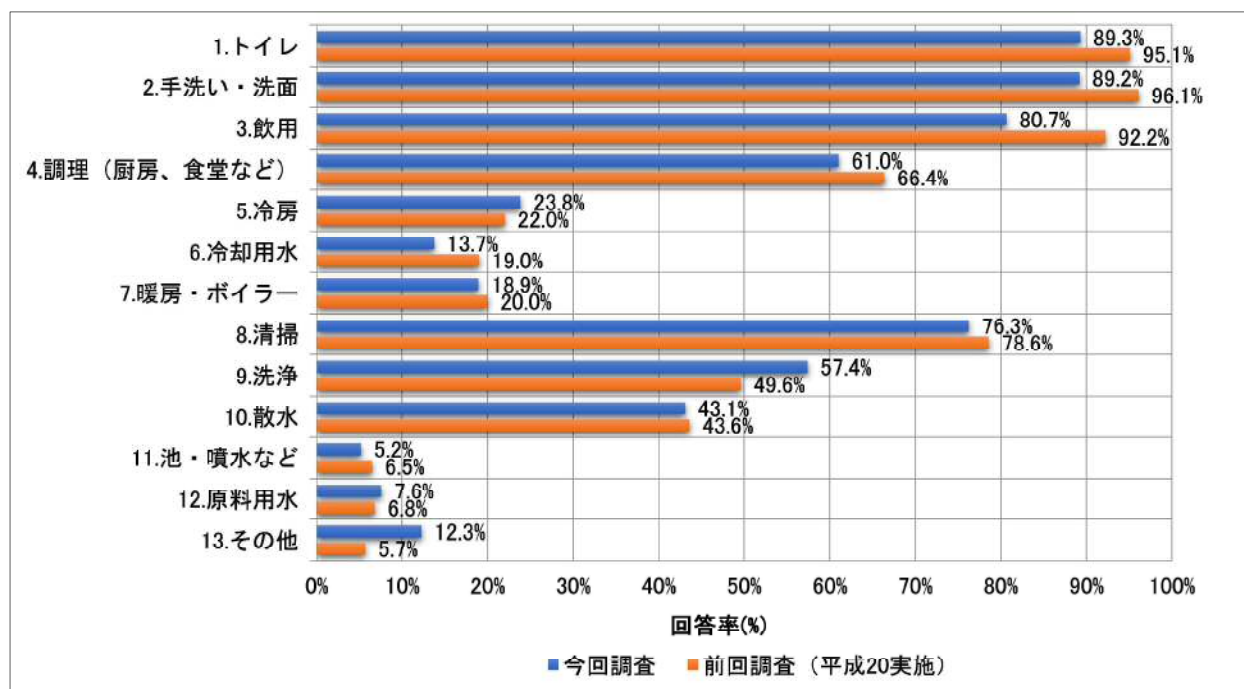


8. 市内事業所アンケートの調査結果の総括

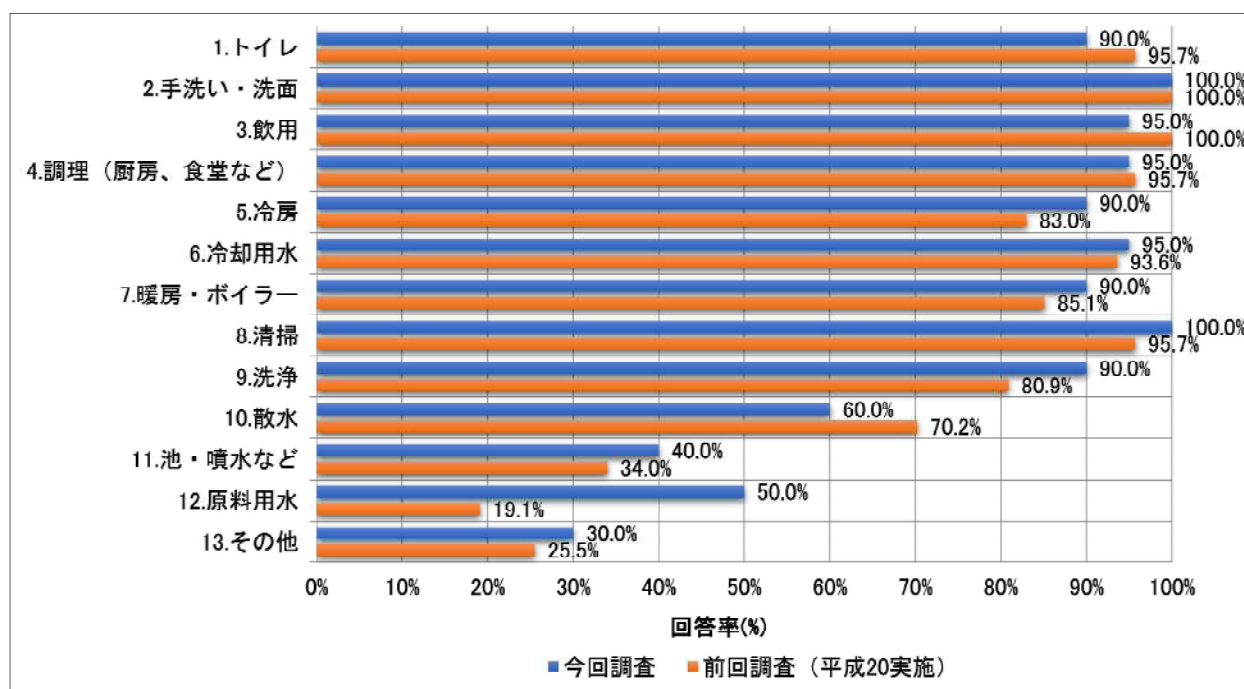
(1) 水の使用状況について

1-① 水道水の使用用途（複数回答）

【大口需要者以外の事業所】



【大口需要者】

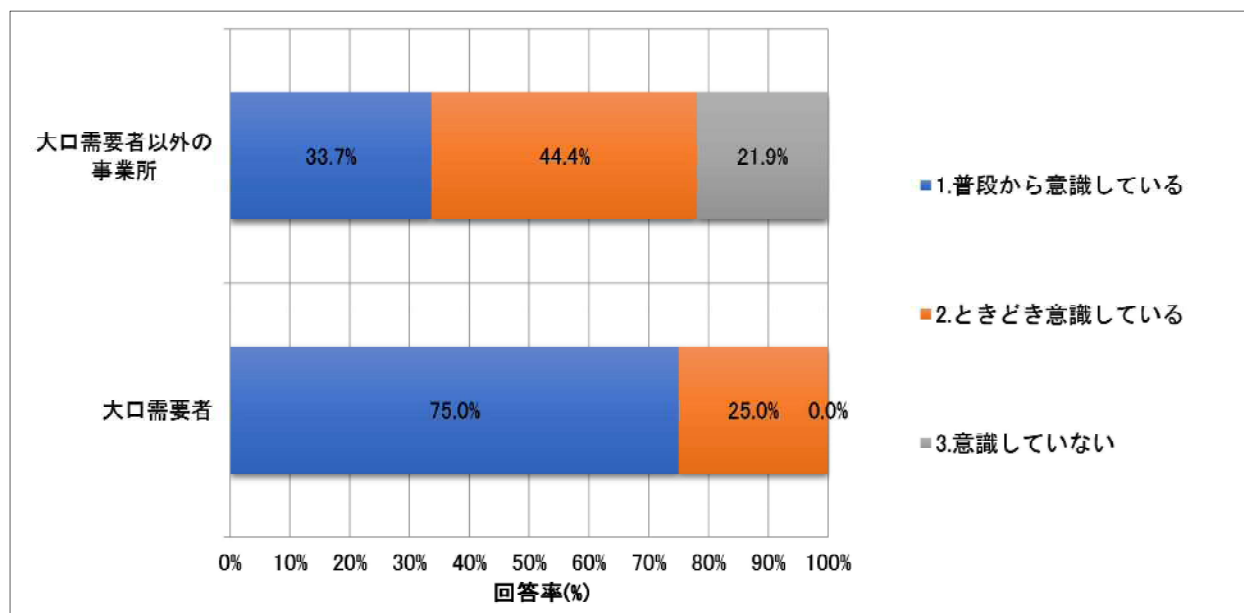


※ 大口需要者とは、平成 27 年度から平成 29 年度の 3 年間で、少なくとも 1 年以上、年間の水道使用量が 36,000 立方メートル以上であった事業所としています。

水道水の使用用途については大口需要者以外の事業所の場合、「トイレ」「手洗・洗面」「飲用」「清掃」で多く使用されています。ただし、これらの用途はいずれも、平成20年度に実施した調査結果と比較すると回答率が下がっています。回答の全体的な傾向は、前回調査と同じです。

大口需要者の場合は、大口需要者以外の事業所と比較して様々な用途で水道水が使用されています。

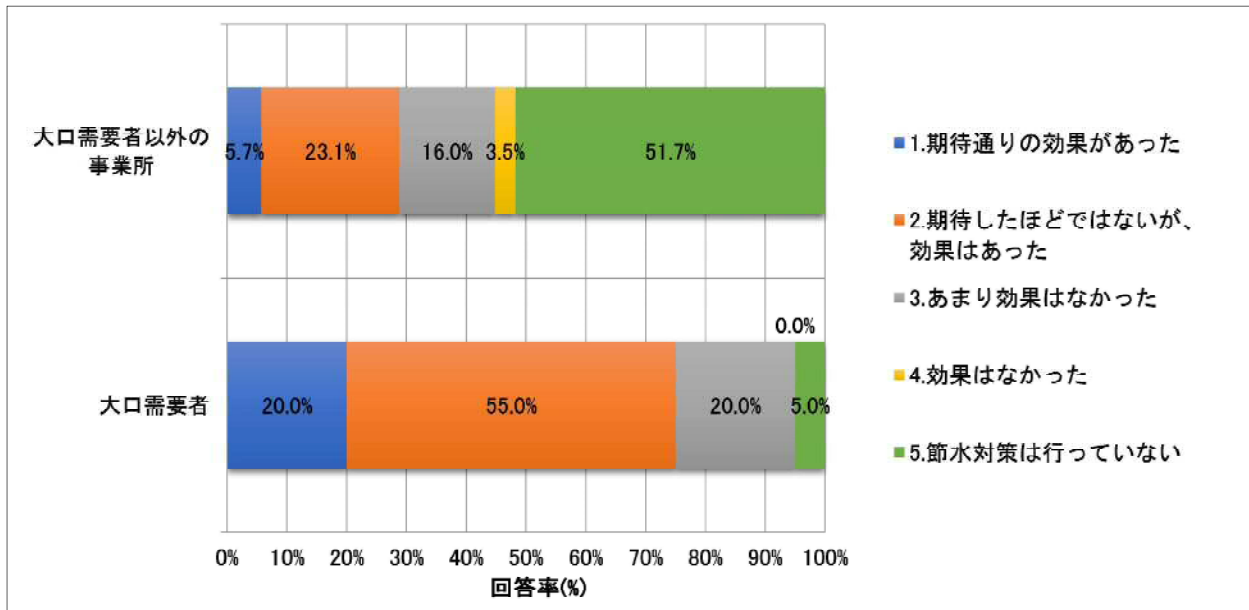
1-② 「水道水の使用量を意識しているか」



事業所における水道水の使用量への意識については、水道水を多量に使用している大口需要者の場合、回答者の75.0%が普段から水道水の使用量を意識しています。その一方、大口需要者以外の事業所については「ときどき意識している」が44.4%、「意識していない」が21.9%と、大口需要者の水道水の使用量への意識の高さが示されました。

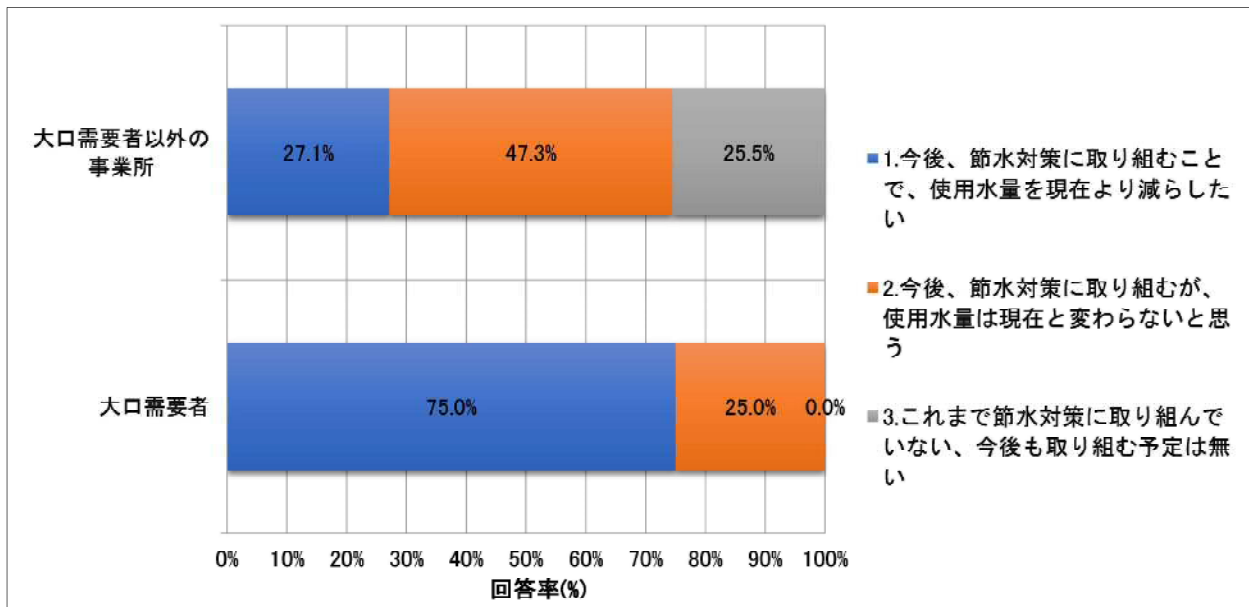
(2) 節水意識について

2-① 事業所における節水対策とその効果



事業所における節水対策とその効果については、水道水を多量に使用している大口需要者^{*}の場合、回答者の95.0%が対策を実施しており、75.0%が節水対策の効果はあったという結果となっています。その一方、大口需要者以外の事業所については「節水対策を行っていない」が51.7%であり、節水対策の取組が進められていないことが分かります。

2-② 事業所における今後の取り組み



事業所における今後の取り組みについては、水道水を多量に使用している大口需要者の場合、回答者の75.0%が節水対策に取り組み、使用水量を現在より減らしたいと考えています。その一方、大口需要者以外の事業所については「使用水量は現在と変わらないと思う」が47.3%、「今後も取り組む予定は無い」が25.5%と、大口需要者の高い節水意識が示されました。

9. 市内事業所アンケートの調査結果の分析

調査結果の分析は、「属性及び関連する設問による回答の傾向（クロス集計）」を行います。

【クロス集計】

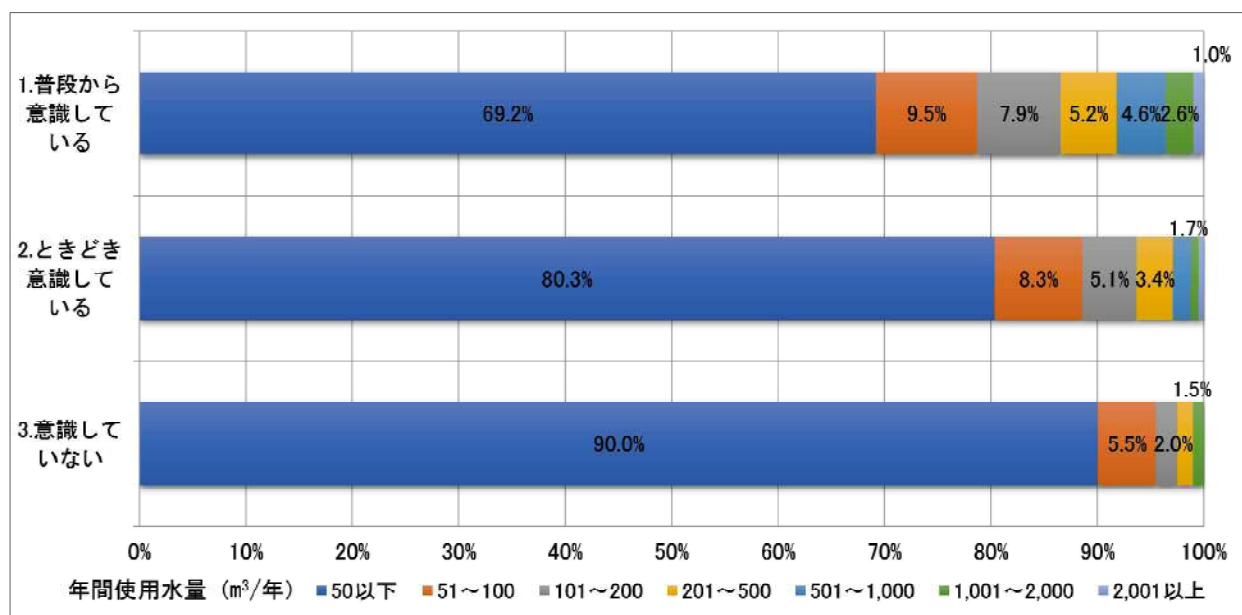
回答者の属性及び関連する設問による回答の傾向を把握するため、以下の2問についてクロス集計を行います。

設 問	クロス集計の相手
1-② 「水道水の使用量を意識しているか」	水道使用量
2-② 事業所における今後の取り組み	水道使用量

(1) 水の使用状況について

【回答の傾向】

(「水道水の使用量を意識しているか」×水道使用量)

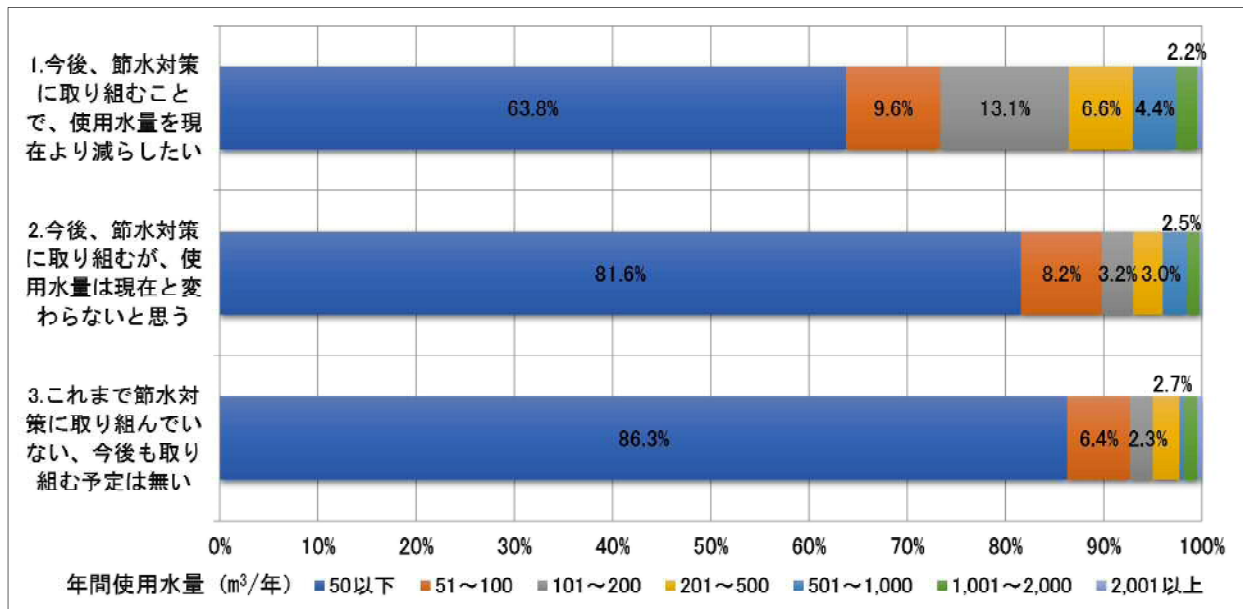


- 水道水の使用量への意識が高いほど、年間使用水量が多くなる傾向が示されました。

(2) 節水意識について

【回答の傾向】

(「事業所における今後の取り組み」×水道使用量)



- 節水対策への取り組み（使用水量を減らしたい）意識が高いほど、年間使用水量が多くなる傾向が示されました。

(3) 回答者の属性

【事業所住所】

回 答	回答数	比 率
1. 本庁地区	329	32.4%
2. 追浜地区	83	8.2%
3. 田浦地区	58	5.7%
4. 逸見地区	28	2.8%
5. 衣笠地区	122	12.0%
6. 大津地区	70	6.9%
7. 浦賀地区	72	7.1%
8. 久里浜地区	108	10.6%
9. 北下浦地区	60	5.9%
10. 西地区	85	8.4%

回答数 1,015

無回答 24

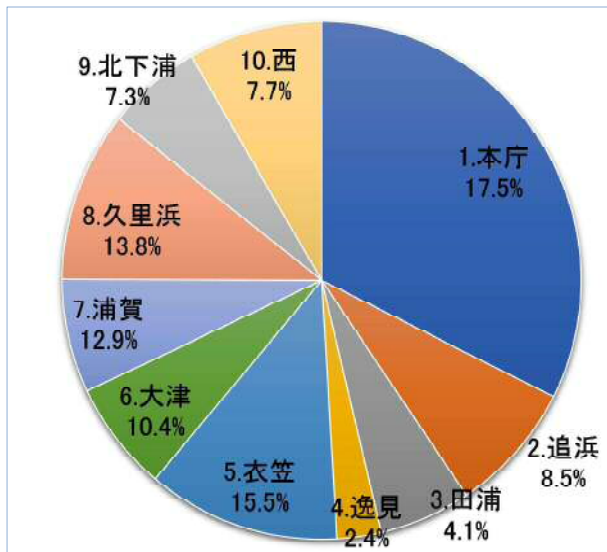
【業種】

回 答	回答数	比 率	回 答	回答数	比 率
1. 農林漁業	4	0.4%	10. 不動産業・物品賃貸業	36	3.7%
2. 建設業	37	3.8%	11. サービス業－宿泊	13	1.3%
3. 製造業－食品製造業	19	1.9%	12. サービス業－飲食	116	11.9%
4. 製造業－その他の製造業	27	2.8%	13. サービス業－生活	117	12.0%
5. 電気・ガス・熱供給・水道業	18	1.8%	14. サービス業－娯楽	8	0.8%
6. 情報通信業	3	0.3%	15. サービス業－教育	13	1.3%
7. 運輸業・郵便業	27	2.8%	16. サービス業－医療・福祉	65	6.6%
8. 卸売業・小売業	193	19.7%	17. サービス業－その他	59	6.0%
9. 金融業・保険業	36	3.7%	18. その他	187	19.1%

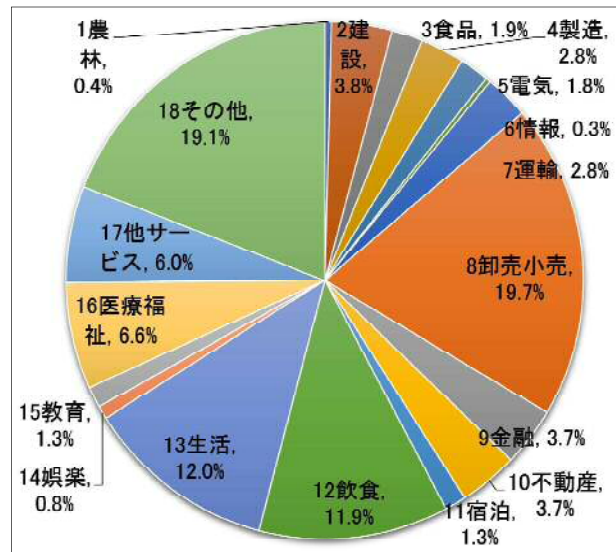
回答数 978

無回答 61

【事業所住所】 グラフ



【業種】 グラフ



【参考】 横須賀市経済センサス（平成26）とアンケート回答者の地区構成比較

